



Atsuko Kudo Mail Magazine 221

2016.08.15 • シュヴァルトツヴァルト

◎ 第 33 回ヨーロッパ・キリスト者の集い

お元気でいらっしゃいますか？

7月27日～31日、シュヴァルトツヴァルト（黒い森）のツァーヴェルシュタインで開催された『第33回ヨーロッパ・キリスト者の集い』（テーマ：「み国を待ち望む」）を、大きな祝福のうちに終えることが出来ました。個人的には、今までの集いの中で、学び、賛美奉仕、交わりの全ての面において、最も充実したカンファレンス、リトリートとなりました。



今回は、ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表の中川健一牧師、KGK 総主事の大嶋重徳牧師が特別講師として招かれました。

中川牧師には、AKWM 設立当初、大きな励ましとご支援をいただきました。また、ハーベスト・タイム・ミニストリーズを通して、これまで、中川師、A.フルクテンバウム師より、ヘブル的視点から聖書を理解するための、貴重な学びを受けました。

中川師のプレ大会の3つのテーマであった、「私たちはどこから来たのか？」「私たちは何のため



に生きているのか?」「私たちはどこへ行こうとしているのか?」は、これまでの学びを再確認し、忘れていたことを思い出し、また多くの新たな気づきを与えていただいた時でした。

本大会では、師が集いのために特別に用意された、「千年王国の歴史の変遷」について講演されました。千年王国とキリストの再臨に関しては、「千年期前再臨説」、「無千年王国説」、「千年後再臨説」と、人によって理解に相違がありますが、中川師は、それらの違いが、どのような神学的見地から来るものかを詳しく説明してくださいました。

歴史の中で変遷、あるいは新しく生まれて来た神学が、その時代の思想・風潮、つまり、Zeitgeist (ツァイトガイスト=時の霊) に少なからず影響を受けて来たものであることが分かってきました。それゆえ、神学云々を議論する前に、日々罪を悔い改め、小羊の血潮で洗いきよめられ、聖なる者として御前に出ささせていただき、神の「知恵と啓示の霊」、「霊を見極める御霊」を求めながら聖書を読み、純粹にみことばに生きる大切さを覚えました。

大嶋重徳牧師は主にユースのグループで講演されたので、残念ながら私は聞くことができませんでしたが、聖書の語る性について、恋愛、結婚について大胆に明確に語ってくださったとのこと。教会内でさえも、性の乱れ・混乱が生じている今、特に若者たちにとっては大切なメッセージであったと思います。

欧州各教会の先生方も、貴重なメッセージを語ってくださいました。興味のある方は、次の「ヨーロッパ・キリスト者の集い」のサイトからお聞きになれます。<http://www.europetsudo.net/>

♪ 賛美の夕べ

土曜の夜に行われた「賛美の夕べ」では、大会テーマである「み国を待ち望む」をテーマに、ヘンデルの「メサイヤ」を中心にプログラムを組みました。今年は、多くの音楽専門家が参加されたこともあり、数名のヴァイオリン、コントラバス、フルート、ピアノともに、歌のソロ、聖歌隊賛美、会衆賛美を交えて、賛美をささげました。

「メサイヤ」の『ハレルヤ・コーラス』は、これまで原語の英語で賛美してきましたが、今回は日本語で賛美しました。昨年、20世紀初めに中国の雲南省の山村の

人々に福音を伝えたジェームス・フレーザー師の伝記 DVD で、雲南省リス族のクリスチャンたちがリス語で賛美する『ハレルヤ・コーラス』を聞いて大変感動しました。そこで、私たちも、今年は自分たちの言葉で『ハレルヤ・コーラス』を賛美しましょう、ということになりました。



日本語を解さないドイツ人のご主人たちも聖歌隊に加わってくださいましたが、アルファベットのカナをふり、練習を重ねて備えてくださいました。そして、「主の主！ 諸王の王！ 永遠に続けたまわん」と日本語で声を合わせて歌う時、日本人、あるいは日本語を母国語とするクリスチャンの一体感を覚えました。御国に入る時には、日本人、日本語を国語とする者たちが合い集い、日本語で主を賛美させていただくこととなります（黙示録 7:9~11 参照）。その光景を垣間見させていただいた、格別な感動を覚えた賛美でした。

さて、『ハレルヤ・コーラス』は、キリストが統治される「千年王国」を歌う賛美ですが、プログラムの最後に賛美した、『永遠の神の都』(The Holy City) では、歓喜の輪がさらに広がりました。

私たちがキリストと共に統治する「千年王国」は素晴らしいところです。しかし、千年という年月の最後にサタンが解き放たれ、このサタンがキリストによって永遠に滅ぼされて後に天から下って来る「聖なる都エルサレム」は、もう時間に制限されることのない、完全な『永遠の神の都』です。

最終ゴールである『永遠の神の都』を待ち望む私たちに必要なものは、キリストから目を離さないこと、忍耐をもって、苦しみを恐れないで走り続けること。へブル人への手紙のみことばが走馬灯のように脳裏を行き来し、大きな悩みの時に信仰の友が送ってくれた、約束のものを待ち望む私たちに必要なのは、“Geduld ist alles”（信仰がすべてです）という三語を、再び心に刻み付けた、忘れえぬ賛美の時となりました。

◎9月5日～10月4日ブラジル・ツアーのためにお祈りください！

1. ブラジルの実行委員会では、祈りを積みながら、たくさんの準備を進めてくださっています。実行委員会、主催教会、主催団体の守りと祝福のために。
2. 主がコンサートを祝い、多くの方を集め、未信者の方々に救いへと導き、信者のみなさんには霊の励ましを与えてくださいますように。
3. かなりの強行スケジュールですので、伴奏をしてくださる宮島紀子さん（サン・パウロ在住）とこの者の健康・霊性が支えられますように。
4. 10月3日の賛美セミナーのために。ポルトガル語の同時通訳も入ります。主が多くの人々を集めてくださり、聖霊が参加者にお語りくださいますように。
5. 今月、ブラジル渡航に向けて、黄熱病、A+B型肝炎の予防接種をしました。しかし、ジカ熱やデング熱は予防接種も治療薬もありません。主がすべての病、事故、災害から守ってくださいますように。

9/5 ハンブルク→サン・パウロ

9/7 ブラジリア(ブラジリア州) 夜、教会コンサート(ブラジル独立記念)

9/10 カンポ・グランジ(MS マット・グロソ・ド・スウ州)、午後、敬老会コンサート

9/11 カンポ・グランジ(MS)、18:30 ホーリネス教会コンサート

9/13 タンガラ・ダ・セーハ(MT マット・グロソ州)18:30 コンサート

9/14 タンガラ・ダ・セーハ(MT)、夜の礼拝で賛美

9/17 マリア(SP サン・パウロ州)、10:00 老人会コンサート(市制記念)

ポンペイア(SP)、19:30 ホーリネス教会で証しと賛美

9/18 ポンペイア(SP)、19:30 コンサート

9/20 ポルト・アレグレ(リオ・グランジ・ド・スウ州)、16:00 コンサート(市制記念)

9/24 ソロカバ(SP)、15:00 コンサート(市立劇場)

9/25 カンピーナス(SP)、14:00 コンサート(市議会室)

9/27 サン・ジョゼ・ドス・カンポス(SP)、デイサービス「シャローム」創立記念コンサート

9/28 サン・ジョゼ・ドス・カンポス(SP)、19:00 コンサート

10/1 サン・パウロ市(SP)、15:00 コンサート(文協ホール)

10/3 サン・パウロ市(SP)、9:00～16:00「賛美セミナー」

10/4 サン・パウロ→ハンブルク(5日到着)

10/7～日本(日本の予定は、<http://akworship.com/html/schedule.html> からご覧ください。)

10月5日にハンブルクに戻った後、一晩我が家のベッドでしっかり睡眠を取り、翌日6日午後日本へ出発します。大阪には7日到着予定です。どうぞ、主がフライトを守り、体調を支えてくださいますようお祈りください。しばらくメルマガが書けない状態が続くと思いますので、祈祷課題や報告など、折々に皆さまに短く連絡させていただきたいと思っています。

イエス・キリストの恵みが、皆さまと共にありますように！

Atsuko Kudo

